
うちのおぼっちゃん

河 美子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

うちのおぼっちゃま

【コード】

N8981H

【作者名】

河 美子

【あらすじ】

ピカピカの1年生は、いろいろやってくれます。でも、でも、こんなこともあるよね。

「こういう晴れたときには、上履きを洗うからって言ってあったのに。あの子はもうっ。」

先生がびっくりするわよ、上履き臭くて。

この前も、参観日の後の懇談で、

「金曜の放課後は、置いて帰った上履きで、鼻が曲がりそうになるわ」

って、おっしゃったから、あれほど持って帰りなさいって言ったのじ。

隣のさくらちゃんは、ちゃんと持って帰ってきたわ。

さつき玄関先で会ったら

「こんにちわ、竜ちゃんは残ってお勉強ですって。」

「あら、そう、竜はよっぽど勉強好きなのねえ。」

もう、あんな女の子がほしかったわっ。

残って勉強もしたとは思えない速さで、さくらちゃんより早く着いたのはなぜ。

しかも、もうランドセル置いて行方不明よ。

お芋のてんぷら2枚盗んで。

どれどれ、ランドセル点検。

先生からの連絡帳のお便りはっつと。

「竜ちゃん、いつも強くんさそってくれてありがとう。今日も強くんのお母さんが竜ちゃんが

毎朝、寄ってくれるから学校へ行けるようになったって。本当にありがとう。竜ちゃんが

紙ずもつのおすもつさんを学校で作ったのを、とどけてくれてそれから来れるようになった

のね。みんなが竜ちゃんみたいにやさしくなったら、先生うれしいなあ。でも、きょうはし

ゆくだいやつてくること。では、月ようにあいましょね。」

竜太、今日は上履き忘れたこと、お母さん許してあげる。お芋のてんぷらあと2枚あげる。

さくらちゃんもいいけど、やっぱりあんたが一番。

ふふふ、私の子供だもん。

お父さん、早く帰ってこないかなあ。

うちの1年坊主の話 してあげよう。ビールも冷やしておい
し。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8981h/>

うちのおぼっちゃま

2010年12月31日14時33分発行